

2022年8月吉日

日本 NIE 学会 デジタル版機関誌

『NIE フォーラム』発刊のお知らせ

新緑の候、会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、日本 NIE 学会では、機関誌である『日本 NIE 学会誌』に加えて、デジタル版機関誌として『NIE フォーラム』を発刊することにいたしました。学会として、会員の皆様に NIE の成果(教育実践・推進活動など)を広く公表いただく場を設けることが目的です。これから論文投稿をお考えの先生方には、ぜひ『NIE フォーラム』で腕試しをしていただいてから、『日本 NIE 学会誌』への投稿へと歩を進められてはいかがでしょうか。

『NIE フォーラム』では、次のような研究・実践に関する報告と記録を求めています。

- (実践報告・記録)指導者として学校等での教育活動で行って手ごたえがあったが、「たまたまよい記事に出会えたからできたもので、同じレベルではできないかもしれない」という時事的で、一回限りの要素が強くなっている NIE 実践の成果について
- (NIE 推進活動報告・記録)教育関係者または新聞社の編集や記者の方で、各都道府県の NIE 推進協議会や教育関係者との連携協力で、これまで取り組んできた NIE 推進活動の成果について
- ※1 これまで論文を書いたことがないという方でも、論文の形式や内容によっては掲載できるようにサポートをさせていただきます。
- ※2 論文の作成にあたっては、裏面にあります「『NIE フォーラム』の編集規定、投稿・執筆要領」をご覧くださいまして、執筆・投稿ください。
- ※3 論文の発行にあたっては「デジタル版」とあるように紙媒体での発行は行いません。学会ホームページでの掲載となります。ご了承ください。

関心を持っていただきました会員の皆様で、ご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。『NIE フォーラム』の締切は 8 月末日(詳細は裏面記載)です。たくさんのご応募をお待ちいたしております。

* 本年度(2022年度)の締め切りは 10 月 31 日月曜日といたします。

日本 NIE 学会 機関誌発行委員会 小田泰司

問い合わせ先 〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町 1-1
福岡教育大学 教職実践ユニット 小田泰司

E-mail: yasuoda@fukuoka-edu.ac.jp

『NIE フォーラム』の編集規定、投稿・執筆要領

『NIEフォーラム』の編集規定

1. (発行について) 本誌は、日本NIE学会の機関誌であり、年一回、デジタル版で発行する。
2. (本誌について) 本誌は、本学会の目的に資するよう、会員の研究と実践に関する報告と記録の発表にあてる。論文の発表部門として、研究部門及び実践部門の二つを設ける。また、各部門は、報告と記録で構成し、投稿者が申告する。なお、その他に、日本NIE学会の委員会の活動成果報告を掲載することができる。
3. (投稿執筆規定について) 報告と記録の投稿・執筆は、別途所定の要領による。
4. (報告と記録の掲載の可否について) 報告と記録については、機関誌編集委員会の「年報発行部会」での審議を経て掲載の採否を決定する。これらは『日本NIE学会誌』とは異なり、「査読なし」扱いとする。
5. (掲載の可否を判断する審議の形態について) 機関誌発行委員会の「年報発行部会」は、掲載予定原稿について執筆者との協議を通じ、内容の変更を求めることができる。
6. (編集における費用負担について) 図表等の編集について、特に費用を要するものは、執筆者の負担とする。別刷りにについても、執筆者の負担とする。
7. (原稿の校正について) 報告や記録の校正については、初校は執筆者がおこなうものとする。その際、内容の加筆・修正は最小限にとどめること。なお、再校は機関誌発行委員会「年報発行部会」で行う。
8. (投稿した原稿の扱いについて) 本誌に投稿した報告や記録は、原則として返却しない。

付記：本規定は、令和4年4月1日から発効する。

『NIE フォーラム』の投稿・執筆要領

1. 報告や記録は、未公開のものに限る。ただし、口頭発表、プリントの場合は、この限りではない。応募する報告や記録は、同一の表題の場合は2回まで連続投稿を認める。
2. 報告や記録の投稿締め切りは、毎年8月31日(必着)とする。
3. 報告や記録は、パソコンまたはワープロで作成されたものに限る。論文の長さについては、研究報告及び実践報告にあつては本誌のページ数で6~8ページ(図表等を含む)とする。実践記録又は研究記録にあつては本誌のページ数で3~4ページとする。本誌の1ページの体裁は、A4判、横書き、横22字×縦41行の2段組で、使用する活字は10.5ポイントとする。註や参考文献の項目を書く場合も、使用する活字は10.5ポイントとする。上下左右2.5mmの余白を設け、図表等については余白の枠内に収める。
4. 報告や記録の第1ページには、表題、著者名、所属を記入し、本文は10行目から書き始める。なお、表題と著者名については、英文(欧文)表記を添付すること。
5. 報告や記録は、機関誌発行委員会宛に3部(コピー可)提出する。投稿に際しては、研究部門、実践部門のどちらに投稿するかを明記すること。併せて、著者名、所属、使用したパソコン・ワープロ使用機種ならびにソフト名を付記した、報告や記録のデータが入ったCD-R又はUSBを提出する。ただし、メールへの添付による提出も認める。画像のある場合は、印刷時の字体統一のために、必ず元データを別途に添付すること。
6. 原稿は、下記宛に送付すること。

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
福岡教育大学 教職実践ユニット 小田泰司 宛
yasuoda@fukuoka-edu.ac.jp

付記：本要領は、令和4年4月1日から発効する。